

Water × Circulation × People



SITE

●天神橋筋商店街の夫婦橋付近

大阪は賑わい軸とかつての水路網が交差している所が多く、天神橋筋商店街と旧天満堀川もそのうちのひとつであり、天満独特の歴史も感じれる場所でもある。ここは大阪市北区に位置し、西には扇町公園が立地し地域住民の人々が買い物や散歩をしに足を運ぶ。かつての旧天満堀川は道路で埋め立てられ、上には高速道路が通っている。対象地は商店街の中間地点であり道路で区切られ、昔の川の名残である夫婦橋の欄干が一部再現されている。

→ 水や公園のつながりを利用することで、涼しげな人の流れができる



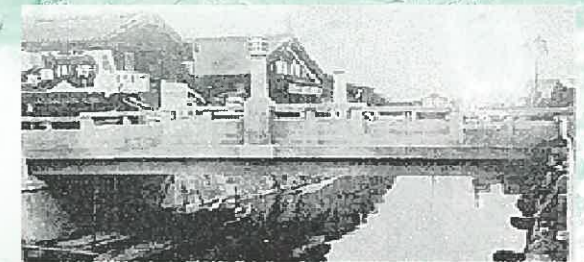
写真① 対象地付近の様子 (西の扇町公園の緑が垣間見える)



図1 対象地の地形図

HISTORY

大阪は豊臣秀吉の大阪城の築城により開拓され、この時に物流の運河として旧天満堀川が開削された。江戸時代後期になると現在の扇町付近 (対象地付近) に夫婦橋が架けられるようになり、明治時代のはじめに現在の天神橋筋商店街の先駆けとなる商店が並び始め、大阪天満宮の参道としても賑わってきた。



写真①-1 1929年頃の夫婦橋の様子

PROBLEM



写真② 3丁目の歩道からの扇町公園

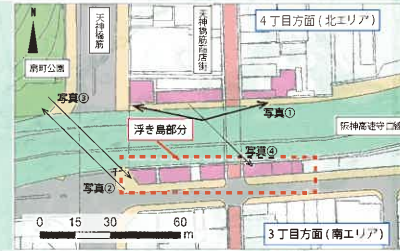


写真③ 扇町公園から見た対象地



写真④ 浮き島のアーケードと建物

■現況平面図

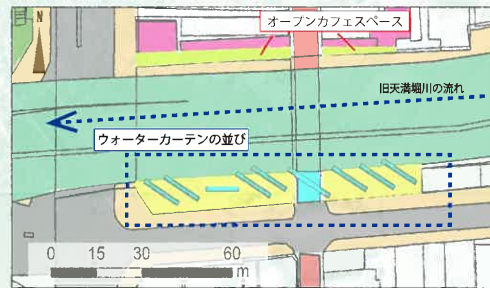


- 高架とアーケードの間に隙間がなく、**熱がこもってしまう**
- 3丁目と4丁目の間に道路が2つ通っており、商店街南エリアに**人の流れがいかなくなっている**
- 3丁目に渡るまでの浮き島にアーケードと建物があることで、南光が差し込まず暗くなっており扇町公園と対象地との**つながりが途切れてしまっている**
- かつて流れていた旧天満堀川の存在が感じにくく、天神橋地域特有の**歴史性を生かせていない**

CONCEPT&SUGGESTION

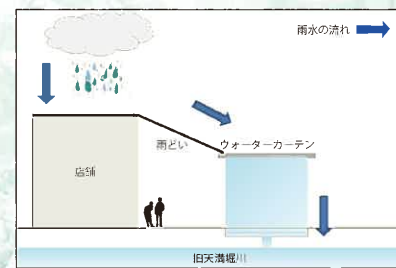
地域の歴史や周辺の公園のつながりを感じながら、かつての川の流れを復活させ、商店街への流れを活性化させる。

■提案平面図



- 浮き島の建物をなくす
南光を遮っていた建物をなくして暗さを緩和する
- 雨水を利用した大きなウォーターカーテン
ウォーターカーテンを旧天満堀川の流れて沿って並べることで、水で涼みながら川の存在を感じる
- 4丁目側のオープンカフェ
歩道をセットバックしオープンカフェを設置する
- 扇町公園との連続性を形成
ウォーターカーテンの隙間から公園が垣間見える

■ウォーターカーテン模式図【雨水の利用】



●雨水を利用したウォーターカーテン

まず雨水は、商店街の店舗屋根とアーケードに張り巡らされている雨どいを通り、さらにウォーターカーテンまで伸びる雨どいを伝って滝のように水が流れる。最後にウォーターカーテンに流れる水は、地下に流れる旧天満堀川にかえっていく。このように単に雨水を利用して水の涼しさを生むだけでなく、雨水が地下の川にかえることでかつての旧天満堀川の存在を覗うことができる。

●ウォーターカーテンからカフェを望む

浮き島ではウォーターカーテンの水幕から透けてオープンカフェでたたずむ人々や、扇町公園の豊かな緑が垣間見える。ウォーターカーテンにより涼しげな人の流れが生まれ、買い物や散歩の途中でちょっとした休憩もできる。また、ここで人々はかつての川の存在を思いだし知ることができるようになる。



●カフェからウォーターカーテンを望む

オープンカフェの手前では高架の影があるものの、高架の隙間から光が少し差し込み暗さが和らぐ。向こう側ではウォーターカーテンの水幕が光に当たりきらきらした水のきらめきが見え、光と影のギャップを楽しむことができる。さらに、3丁目の様子が水幕から透けて見ることができ、道路で分断されていた商店街につながりが生まれる。

